

フォルクスワーゲン グループ、2023年に堅実な業績を記録 - パフォーマンス プログラムと記録的な数の新製品の導入により、将来の成長を安定化

- 2023年の堅調な財務結果は、チャレンジの多い環境でもグループが確実に成果を上げていることを示す
- すべてのブランド グループが226億ユーロの営業利益に貢献:コモディティ ヘッジによる評価の影響を調整すると、営業利益は258億ユーロに増加
- 2023年はTOP-10プログラムの継続的な実行による再編の年
- 包括的な収益プログラムを開始:電気自動車専用のプレミアム プラットフォーム(PPE)のデビューと記録的な数のモデルを導入することにより、自信を持って2024年に臨む
- 「regenerate+」により、グループは総合的な持続可能性戦略を確立し、社会的責任を果たす
- フォルクスワーゲン グループCEO、オリバー ブルーメ:「魅力的な製品と戦略の実行に明確に焦点を当てることにより、私たちは自信を持って2024年を見据えています。フォルクスワーゲン グループは、力強いポジショニングから、変革という長距離レースに参加しています。同時に、私たちは現在の課題を認識しており、フォルクスワーゲン グループの大きな可能性を活用するために、一貫した態度でそれらの課題に取り組んでいます。」
- フォルクスワーゲン グループCFO兼COO、アルノ アントリッツ:「チャレンジの多い環境の中で、フォルクスワーゲン グループは2023年に堅実な業績を達成し、これを踏まえて今年さらなる発展を目指します。持続的な成功を確実に維持するため、私たちは、2024年にニューモデルの投入、コストの削減、グループ内の相乗効果のさらなる活用、そして北米でも収益性の高い成長を続けることなどにより、さらに強固な地域的ポジショニングを確立することに注力していきます。」

ウォルフスブルグ、2024年3月13日 - フォルクスワーゲン グループは、チャレンジの多い市場環境の中、2023年に堅調な財務結果を達成しました。電動化の推進と柔軟な製品戦略により、グループは世界中のお客様のニーズに対応することが可能になっています。同時に、2023年はフォルクスワーゲン グループにとって再編の年でもありました。TOP-10 プログラムの多くの分野で、グループは当初の計画を前倒しで達成しました。30を超える新製品が登場する2024年は、新しいPPEプレミアムプラットフォームをベースにした高性能な電気自動車を含む、新車ラッシュの年となります。これにより、フォルクスワーゲン グループは2024年および2025年以降の事業拡大の加速に自信を持っています。グループの包括的な目標は、これまでと同様、持続可能で価値を生み出す成長を達成することです。

VOLKSWAGEN GROUP

フォルクスワーゲン グループ最高経営責任者(CEO)のオリバー ブルーメは、次のように述べています。「魅力的な製品と戦略の実行に明確に焦点を当てることにより、私たちは自信を持って 2024 年を見据えています。フォルクスワーゲン グループは、力強いポジショニングから、変革という長距離レースに参加しています。同時に、私たちは現在の課題を認識しており、フォルクスワーゲン グループの大きな可能性を活用するために、一貫した態度でそれらの課題に取り組んでいます。現在、グループが持続的に前向きな発展を遂げられるよう準備を進めています。私たちは、広範囲で継続的に成長する製品ポートフォリオにより、他のメーカーとは異なり、世界中のすべてのお客様の要望を満たすことができます。この柔軟性は将来の成功を可能とする競争上の利点であると考えています。」

堅実な財務結果とパフォーマンス プログラムにより、将来の成長を安定化

2023 年、フォルクスワーゲン グループは厳しい環境の中で堅実な業績を達成し、グループが力強いブランドとともに確実に成果を上げていることを証明しました。販売台数は 12%増加して 924 万台となりました。すべての地域が、この増加に貢献しました。売上高は 3,223 億ユーロ、営業利益は 226 億ユーロ、税引後利益は 179 億ユーロとなり、グループのビジネスモデルのレジリエンス(回復力)を実証しました。特別項目を除く営業利益率は、前年の営業利益にまだプラスの影響を与えていたコモディティ デリバティブ(原材料のヘッジ取引)による大きな逆風にもかかわらず 7.0%に達しました。コモディティ デリバティブの評価の影響を調整した営業利益は 258 億ユーロでした。これは 8%の営業利益率に相当します。自動車部門のネットキャッシュフローは、107 億ユーロに増加しました。自動車部門の純流動性資産は年末時点で 403 億ユーロに達しており、グループは非常に堅調な財務状況にあります。優先株 1 株当たりの利益は 2.26 ユーロ増加し、31.98 ユーロ(前年比 8%増)となりました。

なお、フォルクスワーゲン グループは、2024 年 3 月 1 日に昨年度の主な業績と 2024 年度の見通しを発表しています。

取締役会と監査役会は、年次総会で普通株 1 株当たり 9.00 ユーロ、優先株 1 株当たり 9.06 ユーロの配当を提案しています。これは、前年の数値と比較して、普通株および優先株 1 株当たり、それぞれ 0.30 ユーロの増加となります。配当性向は 28%に相当します。

販売台数における電気自動車のシェアが継続的に増加

過去 1 年間で電動化が大幅に推進されました。すべての四半期を通じて、販売台数に占めるバッテリー式電気自動車(BEV)の割合は継続的に増加し、第 4 四半期には約 10%に達しました。通年では、BEV のシェアは、過去最高の 8.3%に達しました。具体的な数字で見ると、フォルクスワーゲン グループは昨年、77 万 1,100 台のバッテリー式電気自動車を販売しました。この数値は、すべての地域で販売が成長したことにより、2022 年と比較して 35%の増加に相当します。グループは、ヨーロッパの電気自動車セグメントにおける主導的な地位を改めて確認しました。

フォルクスワーゲン グループ最高財務責任者(CFO)兼最高執行責任者(COO)のアルノ アントリッツは、次のように述べています。「チャレンジの多い環境の中で、フォルクスワーゲン グループは 2023 年に堅実な業績を達成し、これを踏まえて今年さらなる発展を目指します。グループは良好なポジショニングを確立しており、強固な財務基盤により事業を運営しています。私たちは、これを基盤として、e-モビリティとデジタ

VOLKSWAGEN GROUP

ル化に向けた変革を一貫して推進していきます。持続的な成功を確実に維持するため、私たちは、2024年にニューモデルの投入、コストの削減、グループ内の相乗効果のさらなる活用、そして北米でも収益性の高い成長を続けることなどにより、さらに強固な地域的ポジショニングを確立することに注力します。」

投資金額は今年ピークに達し、その後は減少

グループは、競争力をさらに高め、もっとも魅力的な成長市場での事業活動を拡大し、製品ポートフォリオ全体を強化するために、戦略的な投資計画を一貫して追求し続けています。同時に、グループの相乗効果をさらに活用することで、2025年から2029年までの次期5か年計画への投資額を1,700億ユーロに制限することが可能になります。この資金は主に新製品、地域の強化、バッテリー事業とバッテリー式電気自動車用のプラットフォーム、およびハイブリッド化が進む最新の内燃エンジン搭載モデルのために投資される予定です。投資金額は2024年にピークに達し、2027年までに売上高の11%という目標レベルに近づくと予想しています。

財務結果に持続的な効果をもたらすパフォーマンスプログラム

フォルクスワーゲングループは、グループ史上最大規模の収益プログラムを実施しており、2024年末までにグループ全体で100億ユーロを超える持続可能な効果を目指しています。これにより、インフレやコストの増加といった悪影響を緩和することもできます。グループは、原材料および製品コストの最適化、固定費および生産コストの削減、セールスおよびアフターセールスの両方での収益の増加により、業績を向上させ、コストを削減するための対策に注力しています。

すべてのブランドを対象に開発されたこのパフォーマンスプログラムにより、3つの対策に貢献する狙いがあります。グループの競争力を強化し、効率を向上させるだけでなく、長期的に世界中のお客様の要件をより適切に満たすために、製品や新しい事業分野に投資するための資金を確保することも目的としています。さらに、長期的には、雇用や拠点を維持できるためにも役立ちます。これらのプログラムは、日々変化する市場で成功裏に機能するように、継続的に見直されています。

パフォーマンスと柔軟性を向上させるためのPPEプラットフォーム導入

再編の最初の成果として、パフォーマンス、柔軟性、拡張性を向上させる電気自動車専用のプレミアムプラットフォーム(PPE)の導入が挙げられます。MEBプラットフォームを参考に開発されたPPEプラットフォームにより、プレミアムセグメントとラグジュアリーセグメントでの相乗効果を効率的に利用できます。

また、2024年に最新のハイブリッドテクノロジーなどを含む「Golf(ゴルフ)」、「Tiguan(ティグアン)」、「Passat(パサート)」、「Octavia(オクタヴィア)」、「Superb(スペルブ)」などの主要なベストセラーカーでアップグレードされたポートフォリオ、そして、電気自動車のMEBファミリーは、グループのポジショニングを一層強化します。さらに、プレミアムプラットフォームエレクトリック(PPE)をベースにしたポルシェ「Macan Electric(マカン エレクトリック)」およびアウディ「Q6 e-tron(Q6 e トロン)」¹、MEBベースの「ID.7(アイディ.7)」²や「ID.7 Tourer(アイディ.7 ツアラー)」³、クプラ「Tavascan(タヴァスカン)」⁴、ロングホイールベース仕様の「ID. Buzz(アイディ. バズ)」⁵など、完全に新しいEVモデルもラインナップに加わります。

VOLKSWAGEN GROUP

数多くの製品ハイライトにより、グループは西ヨーロッパでの受注が、今後数か月以内に前年と比べて加速的に増加すると予想しています。これは、すでに発売されている電気自動車にも当てはまり、フォルクスワーゲン グループは前年同期と比較して、明確なプラス基調の中で新年を迎えました。

全体として、グループは、2024 年はニューモデルの導入に関して記録的な年になると見込んでおり、パワフルなプラットフォームをベースにした 30 以上の新製品の発売が計画されています。好調な事業活動に支えられ、グループはバッテリー事業へのさらなる投資や地各域の強化も計画しています。

柔軟な戦略

フォルクスワーゲン グループは、モビリティの未来は電気自動車が主役になると確信しています。一部の国では引き続き目覚ましい変革のペースを示していますが、他の地域では e-モビリティの普及は予想よりも遅いペースで進んでいます。そのため、フォルクスワーゲン グループの戦略は柔軟に策定されています。e-モビリティの拡大には大規模な投資が行われていますが、競争力が高く、効率的で魅力的な内燃エンジン搭載モデルは、移行段階でも製品ラインナップの一部として存続します。改良された、そして新たに開発された新しいプラグイン ハイブリッドは、多くの市場でラインナップを補完します。

すべてのブランド グループが営業利益の拡大に貢献

乗用車部門では、2023 年にすべてのブランド グループが優れた業績を記録しました。売上高が順調に伸びただけでなく、コモデティ ヘッジの影響を調整した特別項目を除く営業利益も全ブランドで増加しました。

ブランド グループ コア(フォルクスワーゲン、フォルクスワーゲン商用車、シュコダ、セアト/クブラ)の営業利益率は 5.3%(前年:3.6%)に上昇しました。これは主に、前年比 21%増の 1,378 億ユーロという大幅な売上高の増加によるものです。この営業利益により、ブランド グループ コアは営業利益率の戦略的目標である 8%に向けて重要な第一歩を踏み出しました。

ブランド グループ プログレッシブ(アウディ、ランボルギーニ、ベントレー、ドゥカティ)の売上高は、2023 年に 699 億ユーロ(前年比 13%増)に増加しました。営業利益は 63 億ユーロに減少しました。コモデティ ヘッジによる評価効果を除くと、営業利益は 77 億ユーロに増加します。営業利益率は 9.0%(前年:12.3%)でした。14 億ユーロの評価効果を調整すると、営業利益率は 11.0%(前年:10.6%)に上昇します。

ブランド グループ スポーツ ラグジュアリー(ポルシェ)は、引き続き良好な業績を記録しました。売上高は 373 億ユーロ(前年:346 億ユーロ)に増加し、製品ローンチコストの増加や生産コストの上昇による逆風にもかかわらず、営業利益率は前年と同水準の 18.6%を維持しました。

ファイナンシャル サービス部門の営業利益は 38 億ユーロで、グループの業績に貢献しましたが、高水準となった前年の利益を約 3 分の 1 ほど下回りました。これは、中古車価格の正常化によるものです。2021 年から 2022 年にかけて、半導体の供給減による新車不足により、中古車の残存価値が前例のない水準に

VOLKSWAGEN GROUP

上昇しました。同グループは、このレベルが持続可能ではないことを早い段階で認識し、それに応じて計画を立てました。

ブランド グループトラック (TRATON: MAN、スカニア、ナビスター、フォルクスワーゲントラック&バス) は、販売台数の増加、好調な市場環境および製品ミックス、単価の向上、車両サービス事業の成長により、売上高が 457 億ユーロ (前年: 395 億ユーロ) に増加しました。TRATON グループの営業利益率は 8.1% (前年: 4%) に大幅に改善し、営業利益は 37 億ユーロ (前年: 16 億ユーロ) となりました。

CARIAD では、計画どおり、同社のソフトウェアがグループ車両で使用されるケースが増えたため、契約ライセンスからの収益は約 30% 増加して 11 億ユーロとなりました。CARIAD は将来のソフトウェア アーキテクチャに対して多額の前払いをしており、その報酬はライセンス支払いを通じて支払われています。このビジネスモデルにより、同部門は 24 億ユーロの営業損失を記録しました。事業面では、ソフトウェア分野のこのグループは今年、ポルシェ「Macan Electric」やアウディ「Q6 e-tron」などの重要な製品の発売に注力してきました。

バッテリー事業の発展も引き続き進んでいます。しかし、投資の増加とさまざまな国でのチーム設立費用により、営業損失は 4 億ユーロ、ネットキャッシュ アウトフローは 8 億ユーロとなりました。これは、電気自動車の生産拡大を成功させるために不可欠な、グループのバッテリー事業活動への投資に関連しています。

「regenerate+」を通じた持続可能性への総合的なアプローチ

フォルクスワーゲン グループは、自然、従業員、社会と共生し、価値を生み出す起業家精神の観点から、持続可能性に対して総合的なアプローチをとっています。そのため、グループは総合的なサステナビリティ戦略を確立しました。この戦略は、グループ全体に適用され、すべてのグループ ブランドの野心的な持続可能性プログラムの基礎となります。

排出量削減の鍵となるのは、e-モビリティの普及です。サステナビリティ戦略により、フォルクスワーゲン グループは、2024 年に業界を先導し、責任を持って戦略を実施します。たとえば、すべてのセグメントにわたって、自動車業界においてもっとも野心的な電動化攻勢の一つを推進しています。

生産におけるサステナビリティ戦略は、ますます注目を集めています。フォルクスワーゲン グループは、計画より 10 年早い 2040 年までに、世界中のすべての拠点をカーボンニュートラルな生産を達成することを目指しています。目標は、2018 年と比較して、すべての温室効果ガス排出量の 90% を削減することです。グループは、エネルギー供給の転換やエネルギー効率の向上などにより、これを達成していきたいと考えています。たとえば、2030 年までに、中国を含むすべての拠点における外部電力供給の 100% は、CO₂ ニュートラルな電源から供給されます。ヨーロッパのすべての拠点では、すでに 100% グリーン電力を使用しています。ヨーロッパの 8 つの工場は、すでにカーボンニュートラルな方法で稼働しています。

フォルクスワーゲン グループの年次記者会見の資料は、以下のウェブサイトで公開されています：
<https://www.volkswagen-group.com/en/volkswagen-group-annual-media-analyst-and-investor-conference-on-march-13-2024-18144>

VOLKSWAGEN GROUP

- ¹⁾ *Near-production prototype*
- ²⁾ *Volkswagen ID.7 Pro - power consumption combined 16.3 - 14.1 kWh/100 km; CO₂ emissions combined 0 g/km; CO₂ class: A*
- ³⁾ *Volkswagen ID.7 Tourer Pro - power consumption combined 16.8 - 14.5 kWh/100 km; CO₂ emissions combined 0 g/km; CO₂ class: A*
- ⁴⁾ *CUPRA Tavascan Endurance - power consumption combined 15.6 kWh/100 km; CO₂ emissions combined 0 g/km; CO₂ class: A*
- ⁵⁾ *Near-production prototype*

Christopher Hauss

Corporate Communications

Head of Strategy and Financial Communications

+49 (0) 171 876 9225

christopher.hauss@volkswagen.de | www.volkswagen-group.com

Christoph Oemisch

Corporate Communications

Press Spokesperson, Finance and Sales

+49 (0) 5361 9 18895

christoph.oemisch@volkswagen.de | www.volkswagen-group.com

